

2023/6/5(月)

2022年度「重点研究」成果発表会

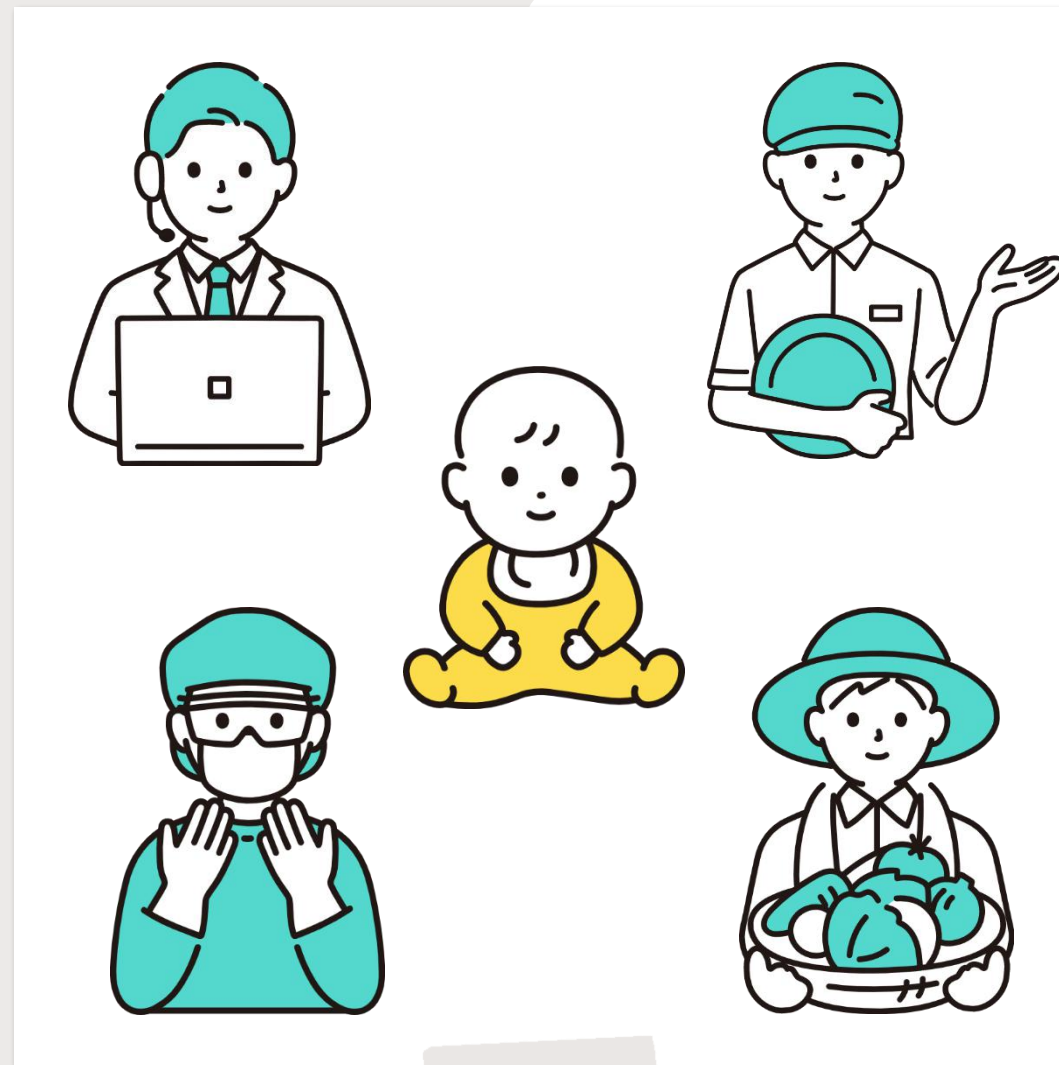
延長保育における保育方法に関する研究 －保育者による子どもへのかかわりに着目して－

福山市立大学教育学部
講師 渡邊 真帆

本発表の流れ

1. 問題背景と研究目的
2. 研究課題 1 : 研究動向の整理
3. 研究課題 2 : インタビュー
4. まとめと今後の課題

問題背景と 研究目的



補足

延長保育事業

- ・ **保育所や認定こども園**等で保育を受けている子どもの中で子ども・子育て支援法第2号又は第3号の要件を満たし、やむを得ない理由により通常の利用日及び利用時間帯以外の日や時間に必要な保育を確保する事業
- ・ 「延長保育事業実施要綱」が定められる（H27策定、R2第4次改正）

預かり保育

- ・ **幼稚園**において、地域の実態や保護者の要請により教育課程に係る教育時間の終了後等に希望する者（在園児）を対象に行う教育活動
- ・ 「幼稚園教育要領」に「教育課程に係る教育時間の終了後等に行う教育活動」として記載

問題背景

延長保育事業実施要綱（厚生労働省 2020）

例：7時から18時まで開所し、後1時間の延長を実施する場合

7時

18時

19時

開所時間

延長時間



延長保育事業

降園の時間帯

降園

子どもが保育施設から
家庭等に帰ること

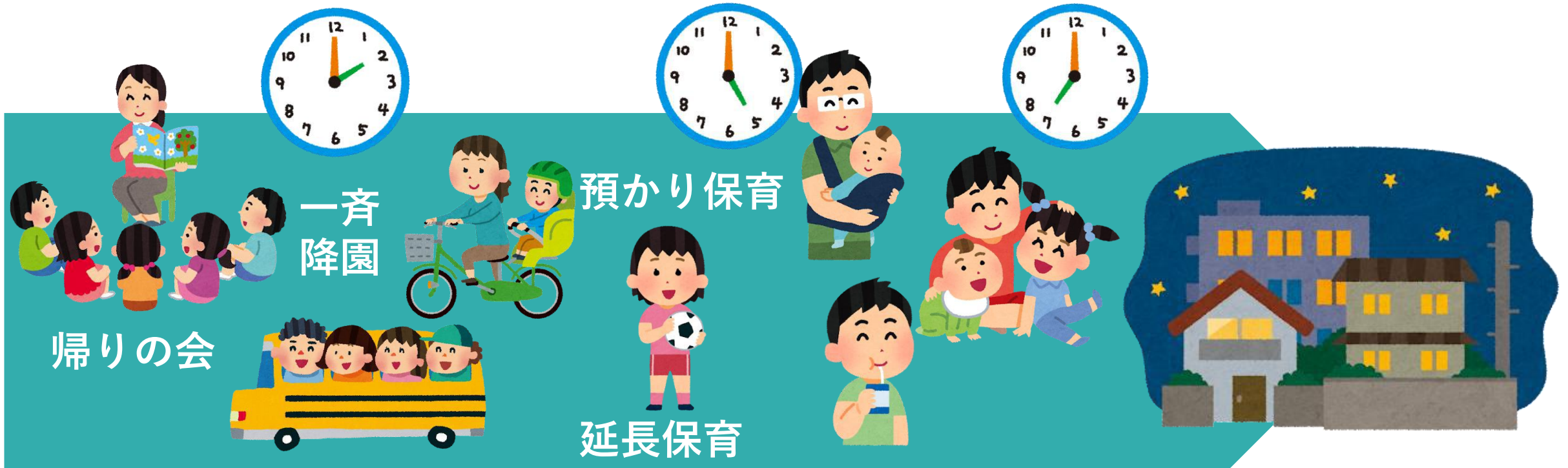
『保育・幼児教育・子ども家庭福祉辞典』

降園の時間帯

➡ 1日における保護者との
再会に向けた時間帯



問題背景



“いつ”、“どのように”降園するかは多様化している

本研究の目的

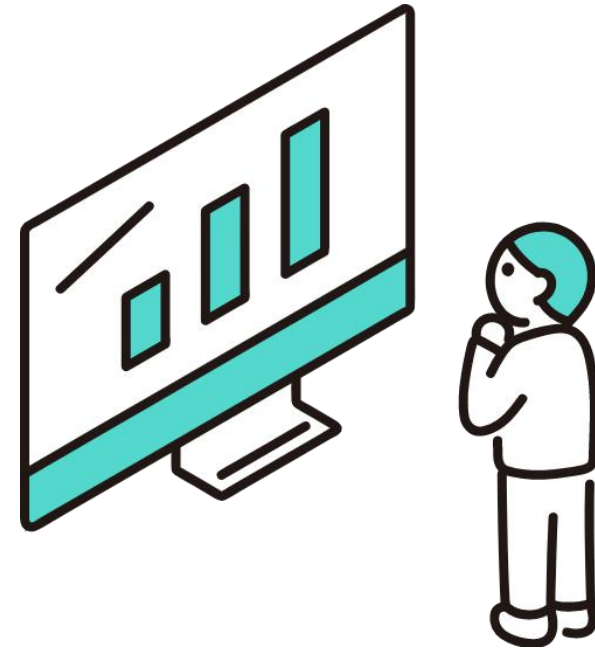
降園の時間帯（延長保育）における保育方法、とりわけ保育者が子どもとかわる際の工夫や配慮について明らかにする。

本発表の範囲

	研究課題	概要	発表
1	降園の時間帯における保育はどのように捉えられてきたのか	システマティックレビューの方法を用いて夕方以降の保育について整理	初等教育カリキュラム学会第7回大会, 2023/1/8
2	降園の時間帯における保育者の子どもへのかかわりに関する研究—延長保育に関するインタビューから—	ベテラン保育士Aさんに延長保育における子どものかかわりについてインタビュー	日本子ども社会学会第29回大会, 2023/6/3
3	保育者は降園の時間帯の流れをどのように捉えているのか	同園勤務の保育士5名に対しインタビューを行い、TEMを用いて分析	TEAと質的探究学会第2回大会, 2023/6/11

研究課題 1

延長保育を含む降園の時間帯の
保育はこれまでどのように
捉えられてきたのか？



研究の手続き

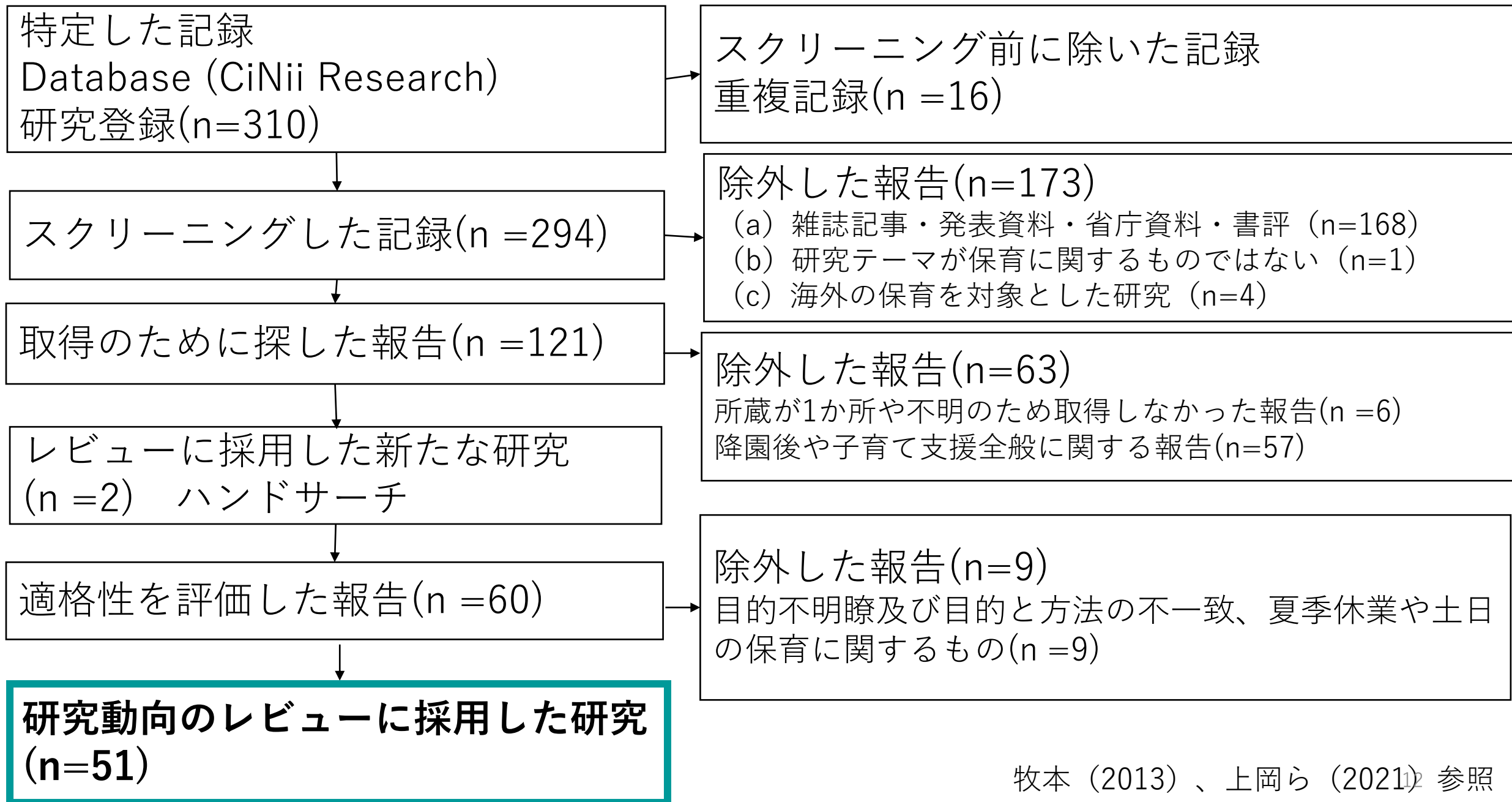
システマティックレビュー (SR)

- ・ 特定のトピックに関するすべての研究のうち、明示的で体系的な方法を使用するレビュー (牧本2013、上岡ら2021)
- ・ 日本では医療や看護等、ヘルスケアの領域を中心に援用 (上岡ら2021、仲下2022)

→ **PRISMA 2020声明日本語訳 (上岡ら2021) を参照して分析**

データベース：CiNii Research 検索語：降園OR延長保育OR預かり保育
2022/7/30 実施

論文採択過程のフローチャート



先行研究の傾向

- ・ 降園の時間帯の保育に関する研究で最も多い内容は幼稚園で実施される「預かり保育」に関する研究
- ・ 同様の時間帯に関する延長保育（事業）については比較的少数
- ・ 預かり保育・延長保育ともに実施状況・地域的なニーズ、利用者としての保護者意識などが主な傾向

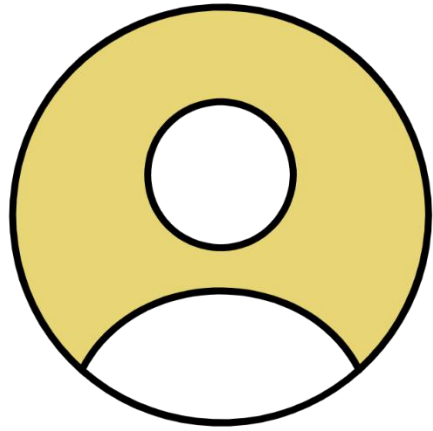
→ 延長保育における保育者自身の意識など、実践的な研究の必要性

研究課題 2

降園の時間帯において、
保育者は子どもとかかわる際に
どのような工夫や配慮を
しているのか？



インタビュー



保育所勤務 Aさん

保育の熟達者とされる
11年以上（高濱2001）の保育経験

- ・ 2022年8月に約1時間実施
- ・ 半構造化の形式（大谷2019）
- ・ 倫理的配慮
研究協力者に研究趣旨を説明して承諾を得ると共に、福山市立大学の研究倫理審査委員会にて承認を得た。

分析方法

SCAT (Steps for Coding and Theorization)

(大谷2019)

小規模データの質的分析に適した質的分析方法

・分析手順

- (1) インタビューの音声データから逐語録を作成
この時、個人名や固有名詞等について匿名・記号化
- (2) 本分析の問いに関連する箇所をSCATフォームに挿入
- (3) 4段階のコーディング
- (4) 案出された70のテーマ・構成概念から
ストーリー・ラインを作成し、理論記述、追究点を記入

1. 揺らがない最重要事項上の活動選択

子ども

1日の経験把握

心身疲労把握

今必要な経験

環境

天気

曜日

時間帯的特性

：緊張感が緩和される、
集中力が切れる

保育者自身

経験則による直感

保育者自身の安心

怪我やトラブル発生時の
シミュレーション

➡ 総合的に安全を判断し、どのように過ごすかを考える

〈理論記述（一部抜粋）〉 下線は構成概念

- ・保育者は、この時間帯を担当する上で最低限かつ最重要の安全をゆるぎない最重要課題として考える。
- ・危機意識が高まっていく時間帯であることから、不可避的事象のシミュレーションを行い、1日の無意識的緊張感緩和時間帯であること、自然的要因の伴う不安定さを踏まえたうえで、経験則に基づく直感や保育者自身の納得感も手掛かりに、必要に応じて保育者側安心感の確保につながる遊びを選択する。

2. 時間帯固有の雰囲気によるかかわり

集団生活的雰囲気からの解放

子ども

- ・ 異年齢で遊びを見合う

例：5歳児のオセロを4歳児が見てまね遊びをする

保育者

- ・ 設定保育でない中でのかかわり
→ ゆったりしたかかわり (1人1人, 気になる子)
- ・ 自分自身が担任でないこと、
時間的特性の中での姿であることを踏まえる
→ 翌日以降につなげていく

〈理論記述 (一部抜粋) 〉 下線は構成概念

- ・ 集団生活的雰囲気からの解放から、子ども達同士はゆったりとした見る-見られる関係の中で憧れの遊び体験もしている。
- ・ 保育者も (中略)、じっくり感及びゆったり感のあるかかわり場面自動発生の状況の中で点と点をつなぐ理解、その子像の再構築が可能となる。ただし、保育者は、延長保育の担当が子どもにとって日常における非日常要素であり自分的子ども理解への不安感を有しており、一時停止の熟慮志向からポジティブ状況の鵜呑み回避、見えにくい姿の自覚意識保持をしたうえで、基盤としての集団保育への情報循環意識をもつ。

3. タイムリミットに伴うかかわりの葛藤

延長保育におけるタイムリミット

家庭的タイムリミット：保護者のお迎えの目安時間

社会的タイムリミット：病院の診療時間

➡ 子どもが気持ちを落ち着ける・立て直す時間的猶予がない

本当は尊重したい経験
(粘り強く取り組む・いざこざ)

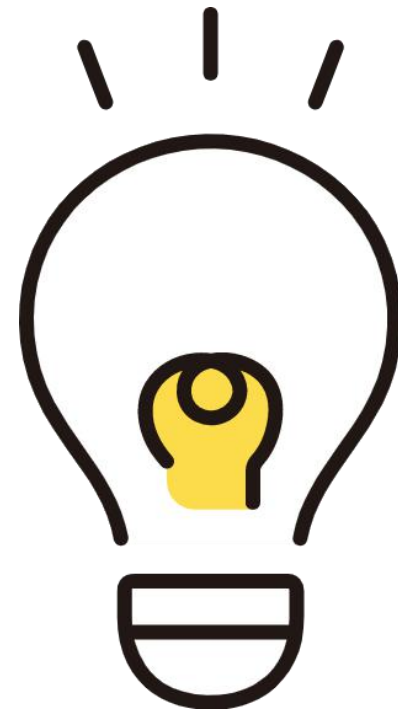
葛藤 楽しい気持ちで送りだしたい
笑顔で帰ってほしい

➡ 早めの介入など、かかわりの程度を判断することもある

〈理論記述（一部抜粋）〉 下線は構成概念

・子どもの帰宅時の気持ち=今日1日の気持ちへの変換という特性を踏まえ、家庭的タイムリミットの意識及び社会的タイムリミットの意識が高まっており、必要不可欠な時間的猶予が無い場合は、保護者の視線VS子どもの経験、子どもの気持ちVS子どもの経験を検討し、時間的限界性に迫られる判断をとる場合など、保育者の落としどころの模索をしながらかかわる。

まとめと 今後の課題



時間帯の特性によるかかわり

登園

子どもにとって「不安定な」時間帯

(e.g., 山本・松葉2012)

保育者による子どもへの援助に関する研究

(e.g., 塚崎・無藤2004)

かかわりの葛藤について、インタビューでは
苦渋の決断として語られたものの、

➡ **降園に向けた援助の特性として
捉える可能性**



塚崎京子・無藤隆 (2004) 保育者と子どものスキンシップと両者の人間関係との関連—3歳児クラスの観察から—.保育学研究.42 (1),42-50.

山本聡子・松葉百香 (2012) 子どもの登園における保育者の配慮に関する研究. 名古屋市立大学大学院人間文化研究科人間文化研究.18,97-108

成果と今後の課題

	研究課題	成果
1	降園の時間帯における保育はどのように捉えられてきたのか	・ 預かり保育に関する研究、 構造の質 (OECD,2011) に関する議論中心 → 延長保育・実践的研究の必要性
2	降園の時間帯における保育者の子どもへのかかわりに関する研究—延長保育に関するインタビューから—	保育者による子どもへのかかわりの工夫や配慮、葛藤が明らかに → 時間帯的特性の示唆

今後の課題

- ・ 保育者間の連携について→研究課題 3
- ・ プロセスの質 (OECD,2011) に関する研究蓄積の必要性
→ 保育者の具体的なかかわり、子どもの姿

OECD編著, 星三和子・首藤美香子・大和洋子・一見真理子訳 (2011) OECD保育白書—人生の始まりこそ力強く: 乳幼児期の教育とケア (ECEC) の国際比較. 明石書店.145-149. (OECD (2006) Starting Strong II: Early Childhood Education and Care, OECD Publishing.)

引用文献・謝辞

- 上岡洋晴,金子善博,津谷喜一郎,中山健夫,折笠秀樹 (2021) 「PRISMA 2020声明：システマティック・レビュー報告のための更新版ガイドライン」の解説と日本語訳. 薬理と治療.49,831-842.
- 厚生労働省 (2020) 延長保育事業実施要綱 (四次改正 子発0401第2号)
- 牧本清子 (2013) エビデンスに基づく看護実践のためのシステマティックレビュー.日本看護協会出版会.
- 文部科学省 (2018) 幼稚園教育要領解説.フレーベル館.
- 仲下裕美子 (2022) わが国の看護学生への喫煙防止・禁煙教育および禁煙支援教育プログラムに関する研究のシステマティックレビュー.日本看護研究学会雑誌.45(1),81-91.
- OECD編著, 星三和子・首藤美香子・大和洋子・一見真理子訳 (2011) OECD保育白書－人生の始まりこそ力強く：乳幼児期の教育とケア (ECEC) の国際比較.明石書店.145-149. (OECD (2006) *Starting Strong II: Early Childhood Education and Care*, OECD Publishing.)
- 大谷尚 (2019) 質的研究の考え方－研究方法論からSCATによる分析まで. 名古屋大学出版会.
- 境愛一郎 (2021) 降園. 保育・幼児教育・子ども家庭福祉辞典. ミネルヴァ書房. 66 - 67.
- 諏訪きぬ (2006) 第3章 子育てと仕事の両立支援と保育.日本保育学会.保育学講座5 保育を支えるネットワーク－支援と連携.東京大学出版会.47-70.
- 高濱裕子(2001)保育者としての成長プロセス：幼児との関係を視点とした長期的・短期的発達. 風間書房.
- 塚崎京子・無藤隆 (2004) 保育者と子どものスキンシップと両者の人間関係との関連－3歳児クラスの観察から－.保育学研究.42 (1) ,42-50.
- 山本聡子・松葉百香 (2012) 子どもの登園における保育者の配慮に関する研究. 名古屋市立大学大学院人間文化研究科人間文化研究.18,97-108

【謝辞】

インタビューにご協力いただいた皆様に心より感謝申し上げます。